

保証書

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼下さい。

形名	ディスクグラインダハンドセット SDH-058		※ お 買 い 上 げ 日	保 証 期 間
			平 成 年 月 日	1 年
※お客様	ご 住 所	〒		
	ご 芳 名			
	電 話	()		
※販売店	住 所 店 名	☎ ()		

※上記欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下、引越し、輸送等による故障または損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
 - (ニ) 車両、船舶にとう載して使用された場合に生じた故障または損傷。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、当社までご相談ください。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保存してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

お客様
相談窓口

商品・修理品についてのお問い合わせは…

☎ 03-3252-8861

修理品の送り先…

〒340-0002 埼玉県草加市青柳6-30-9

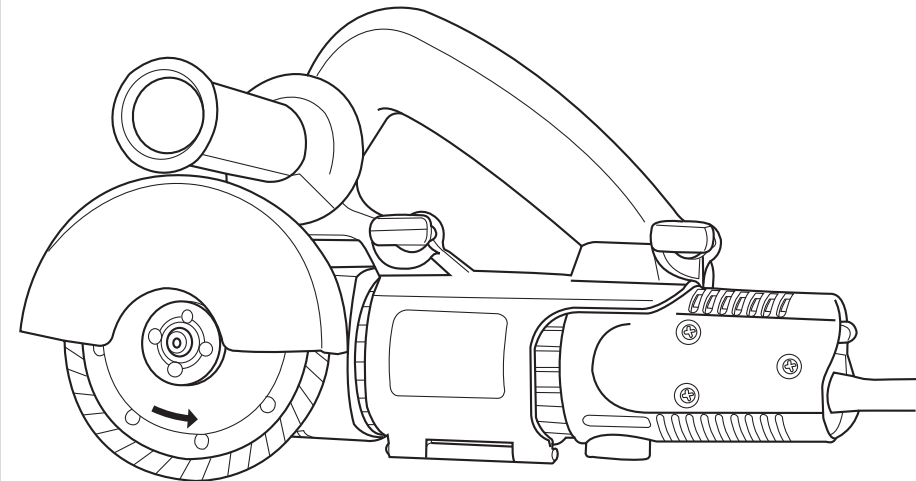
株式会社 新興製作所 埼玉工場

TEL:048-931-4151

SHINKO 株式会社 新興製作所

〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町11番地 TEL03-3252-8861 FAX03-3254-2600

ディスクグラインダハンドセット SDH-058取扱説明書



☐ 二重絶縁

このたびはディスクグラインダハンドセットをお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用に際しては、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになった後は、必ず保存してください。

安全にご使用いただくために特に注意していただきたいこと

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次の「⚠ 警告」を必ず守って下さい。
 - ご使用前に、この「⚠ 警告」をよくお読みの上、指示に従って正しくご使用下さい。
 - お読みになった後は、電動工具をお使いになる方が、いつでも見られる所に保管して下さい。
- ※本文は共通事項であり、製品により合致しないことがあります。

⚠ 警告

1.作業をするときの服装について

- 電動工具を使用するときは長袖、長ズボン、帽子、保護メガネ、手袋等を必ず身につけて下さい。屋外作業するときはゴム手袋、滑り止めのついた履物をおすすめします。
- 作業中、本工具（砥石等）の破損、加工する材料が急に回転したり、飛んだとき、思わぬけがの原因となります。
- 作業中はだぶだぶの衣服や、ネクタイ等は着用しないで下さい。
- 作業中、回転部に巻きこまれ思わぬけがの原因となります。
- 粉じんの多い作業のときは、保護メガネ、防じんマスク等を着用して下さい。

2.作業をする場所について

- 作業場、作業台は整頓して、きれいなところで作業をするようにして下さい。
- ちらかった作業場、作業台は事故の原因となります。
- 作業は常に明るい場所で行うようにして下さい。
- 暗い場所での作業はけがの原因となります。
- 電動工具のモーターが回転するときに火花が発生します。又、研削するときに研削粉が火花となって飛散します。可燃性の液体やガスのある場所では絶対に使用しないで下さい。
- 可燃性の液体やガスに引火しますと火災や爆発の恐れがありますので、特に注意が必要です。
- 作業場は作業員以外は近づけないで下さい。又、作業員以外の人には電動工具や電源コードに触れさせないで下さい。
- 作業場の近くに作業員以外の人がいったり、電動工具に触れたりしますと思わぬけがの原因となります。
- 電動工具は雨の中、湿気の多い場所では使用しないで下さい。
- 感電の恐れがあり大変危険です。

⚠ 警告

3.電気について

- 使用電源は銘板に表示してある電圧でご使用下さい。
- 表示を越える電圧で使用しますと回転が異常に高速となったりし、機体が破損する恐れがあり危険です。
- 感電防止のため漏電しゃ断器が設置されていることをご確認下さい。2重絶縁品を除き、必ずアースを接地して下さい。

4.取扱について

- 電動工具を使用するときは取扱方法、作業の仕方、周囲の状況等に十分注意をして作業をしてください。
- 電源に電源プラグを差し込む前に本機のスイッチを切ってください。
- スイッチを入れたまま電源プラグを差し込みますと、不意に起動して思わぬ事故の原因となります。
- ご使用前に本機に損傷がないか、正常に作動するか、工具（砥石等）にひび割れ、キレツがないか、ネジが確実に締まっているか、工具（砥石、ドリル等）が確実に付いているかをご確認ください。万一、本機に損傷、異常がありましたら取扱店、又は当社に修理を依頼してください。
- ネジがゆるんでいたり、工具が正確にセットされていない時は本機の破損、けがの原因となります。
- 初めて本機を使用するとき、工具（砥石、ドリル等）を交換したときは3分以上試運転をしてください。その日の作業のときは開始前に1分以上回転させてください。
- 試運転をしないで作業を開始しますと、思わぬけがの原因となります。
- 作業の都合で保護カバーを取り除いたり、改造はしないでください。
- 規定外の方法でご使用になりますと本機の破損、けがの原因となり大変危険です。
- 運転中は回転部、工具の作動部（砥石、ドリル等）等には絶対に触れないでください。
-
- 本機の点検、掃除、工具（砥石、ドリル等）の交換等のときは必ずスイッチを切り、差し込みプラグを抜いてください。又、作業が終わりましたら必ず差し込みプラグを抜いてください。
- スイッチ、差し込みプラグを入れたまま点検、掃除、工具の交換、放置等をしますと不意に起動して思わぬけがの原因となります。

⚠ 警告

- 運転中、本機の調子が悪くなったり、異常に気がついたときはスイッチを切り、電源プラグを抜き、点検、修理に出してください。
- 異常な状態で連続運転しますと、本機の破損を招くばかりでなく大変危険です。
- コードを持って本機を運んだり、コードを引いて電源プラグを抜いたりしないでください。又、コードが刃物などの鋭利なもの、高熱のものに触れないように注意してください。
- コードが損傷しますと大変危険ですので直ちに交換をしてご使用ください。
- 工具(スパナ、ネジ回し等)は、運転前に必ず本機から取り除いてください。
- 工具を本機や至近に置いて運転させますと思わぬけがの原因となります。
- 本機は取扱に不慣れな人、正しい操作のできない人には絶対に使用させないでください。
- 加工するものはクランプや万力でしっかりと固定して加工をしてください。
- 加工するものがしっかりと固定されていないときは、材料がとんだり振りまわされて思わぬ事故の原因となります。
- 電源プラグを差し込み、スイッチに指をかけて運ばないでください。
- 不意に回転して思わぬけがの原因となります。
- 安全に能率よく作業をするために、本機的能力を超えた無理な作業はしないでください。
- 能力を超えた作業は本機の破損のみならず寿命を短くします。又、けがの原因となります。

5.手入と保管について

- 常に本機の手入に心がけ、長期間安全にご使用ください。
- 使用後よごれたままで湿度の高いところに放置しますと、本機の寿命を短くします。
- 刃物類は常に手入をして良い切れ味でご使用ください。
- 切れ味が悪いと仕上り面が悪くなるばかりでなく、モートルに負荷が多くかかり作業能率が悪くなります。
- 本機を常に安全に能率よくご使用していただくため、定期的に点検をしてください。
- 修理、点検は販売店、又は当社にお申し付けください。
- 作業が終わりましたら塵を取り除き、手入をしてお子様の手のとどかない湿気の少ないところに保管してください。

Ⓔ前記は電動工具を使用するときの共通の注意事項です。製品により合致しないところがあります。

ディスクグラインダハンドセット使用上のご注意

先に電動工具としての共通の警告・注意事項を述べましたが、ディスクグラインダハンドセットについて、さらに次に述べる警告・注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- 本機が輸送途中において衝撃等により接続金具が外れて破損することがあります。使用前に必ず各部を確認してください。破損したままご使用になりますと、思わぬ事故の原因になります。
- 使用前に電源コード、差込みプラグを点検してください。電源コード、差込みプラグを傷んだまま使用しますと、火傷、感電、火災の恐れがあり危険です。
- 使用電源は、銘板に表示してあるAC100Vの電圧でご使用下さい。表示を超える電源に接続しますと、モーターの回転が異常に早くなり、本機が破損する恐れがあり危険です。
- 差込みプラグを電源に差しこむ前に、スイッチが切れていることを確認してください。また、使用後はスイッチが切れていることを確認し、プラグを電源から抜いてください。
- 使用中は本機を確実に保持してください。確実に保持していないと本機が振れ、思わぬ事故の原因になります。
- 水や研削液などを絶対に使用しないでください。感電事故のもとになり、大変危険です。
- 本機を雨中や湿気の多いところで使用したり放置しないでください。またぬれた手で、差込みプラグに触れないでください。感電の恐れがあり危険です。
- 研削トイシでは切断作業を絶対にしないでください。切断作業をしますとトイシを破壊し、思わぬ事故の原因になります。
- 各種作業で本機を上向にして使用しないでください。思わぬ事故の原因になります。
- 作業に合ったトイシカバーを必ず取付けてご使用ください。カバーを外してご使用になりますと、思わぬ事故の原因になります。
- 使用前に各種トイシやダイヤモンドホイルなどに亀裂、割れがないことを確認してください。亀裂、割れのままご使用になりますと破損などで、思わぬ事故の原因になります。
- 各種トイシやダイヤモンドホイルなどのネジ止め、サイドハンドルなどの取付けは確実にしてください。ネジ止めや取付けが不十分ですと使用中に外れて思わぬ事故の原因になります。
- 回転中は各種トイシやダイヤモンドホイルに手を触れないでください。また、身体に近付けないでください。各種トイシやダイヤモンドホイルは高速で回転をしていますので大変危険です。
- ダイヤモンドホイル、切断トイシでの曲線切り、斜め切り、ジグザグ切断、コジリ、側面使用などは絶対にしないでください。破損などで、思わぬ事故の原因になります。
- 作業者は、長袖、長ズボン、保護メガネ、防じんマスク等を必ず身につけてください。研削粉や火花が飛び散り、火傷や目、口に研削粉が入る事があり危険です。
- 可燃性の液体やガスのある所では絶対に使用しないでください。可燃物の近くで使用しますと、引火、爆発の危険があります。

- 回転中は**ロックピンを押さない**で下さい。また、ロックピンを押したままスイッチを入れないでください。急激な回転の停止による、モーター損傷の原因になるばかりでなく、本機が振れて思わぬ事故の原因になります。
- 小さいお子様や、不慣れな方**には使わせないでください。また、近づかないように注意してください。思わぬ事故の原因になります。
- 各種**トイシやダイヤモンドホイルの交換、トイシカバーの交換、ブラシの交換**などをするときは必ずスイッチを切り、差込みプラグを電源から抜いて交換をしてください。不意の起動により、思わぬ事故の原因になります。
- 切断、研削する**材料は確実に固定**してください。不安定な置き方で作業をしますと、材料が飛ばされて思わぬ事故の原因になります。
- 手の平にのせての研削や、短い材料の切断加工はしないでください**。思わぬ事故の原因になります。
- 使用中、本機の異常に気づいたときは直ちにスイッチを切り、プラグを電源から抜いてお買い上げの販売店、または弊社にご連絡ください。（または修理に出してください。）
- 切断作業をするときは、事前にその内部に配線、配管の有無を確認の上作業を行ってください。感電、ガス漏れなどの事故の原因になります。

⚠ 注 意

- ご使用前に、取扱説明書に記載されている**付属品に、損傷がない**ことを確認してください。
- 付属品の取付け**は、取扱説明書に従い確実に取付けてください。
- 無理に押し付けて**、回転数が大幅に低下するような負荷をかけないでください。作業能率が低下するだけでなく、本機の寿命が短くなります。
- 付属品のオフセットトイシは**正しい使用面で研削**してください。トイシの上面、側面では研削しないでください
- 丸ノコ刃やチップソーでの切断作業**はしないでください。思わぬけがの原因になります。
- 本機は、スイッチを切っても**モーターの回転はすぐに止まりません**。作業が終わっても地面や床にはすぐ置かず、回転の停止を確認してください。
- 切断直後、研削直後**の材料は熱くなっています。火傷の恐れがありますので、直ぐには触らないでください
- 作業前に、人のいない方向に本機を向けて**試運転**をし、本機や取付け部品に異常のないことを確認してください。
- 高所作業では、下に人がいないことをよく確認してください**。また、コードを引っ張られたり、引っかけたりしないようにしてください。本機や材料の落下などで思わぬけがの原因になります。

仕様明細

型 式	ディスクグラインダハンドセット SDH-058
本 体	ディスクグラインダ SDG-100G
ディスクグラインダ SDG-100Gの仕様明細	
電 圧	A C 100V
周 波 数	50／60H z
電 流	5.9A
消 費 電 力	560W
回 転 数	10,000 min ⁻¹
絶 縁 方 式	回二重絶縁
電 源 コ ー ド	1.8m
ト イ シ 寸 法	100×6×15mm
質 量	2Kg
定 格	30分

※本機は改良のため、予告なしに仕様変更することがあります。

用 途

付 属 部 品 名	作 業	加工材料
ダイヤモンドホイル	切 断	ブロック、レンガ、タイルなど
切 断 ト イ シ		小径薄肉の鉄、ステンレス、アルミなどのパイプ類
オフセットトイシ	金属表面	溶接面の研削、バリ取り、研磨、錆落としなど
	塗装表面	塗膜はがし、下地研磨など

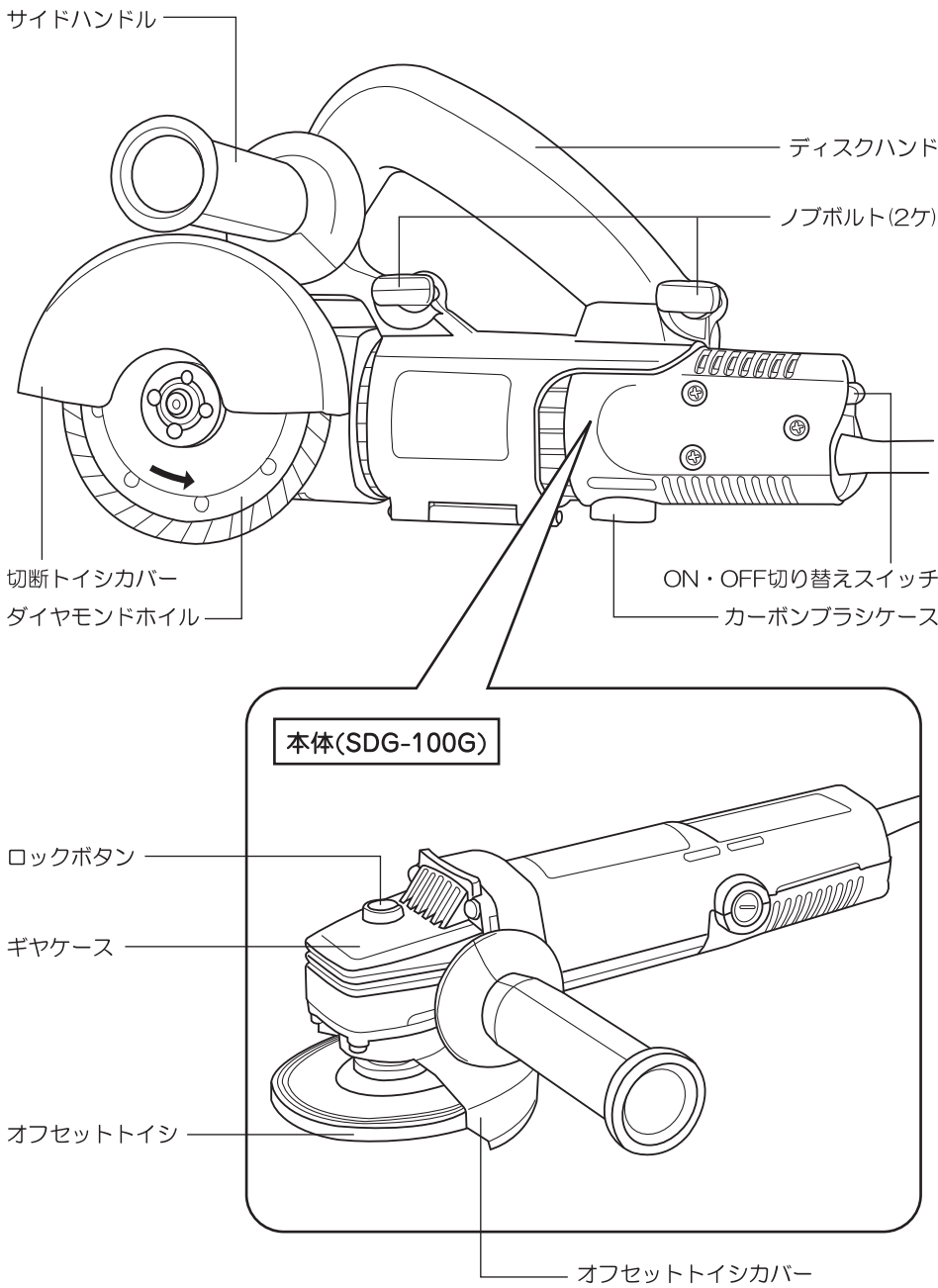
延長コードについて

- 延長コードは電流が流れるのに十分な太さのもので、できるだけ短いコードをご使用ください。
- 下記の表はコードの太さ（導体公称断面積）と最大の長さです。（ご参考）

コードの太さ（導体公称断面積）	最大の長さ
1.25 mm ²	15m
2.0 mm ²	20m

☞ドラム式の延長コードをご使用の場合は、使用中の発熱などによる電圧降下を防止するため、コードはすべて引き出してご使用ください。

各部の名称



付属部品

平面研削用付属部品				切断用付属部品			
	名 称	数			名 称	数	
①	オフセットトイシカバー	1		③	切断トイシカバー	1	
②	オフセットトイシ	2		④	切断トイシ	1	
共通部品				⑤	ダイヤモンドホイール	1	
	名 称	数		⑥	ダイヤモンドホイール用ブッシュ	1	
⑨	ディスクハンド	1		⑦	切断用ワッシャ	1	
⑩	サイドハンドル	1		⑧	補助固定ラバー	2	
⑪	スパナ	1					
⑫	トイシ支えワッシャ	1					
⑬	トイシ押えナット	1					

作業前の準備

■本体(SDG-100G)とディスクハンドの組立

⚠ 注意

- 本体(SDG-100G)とディスクハンドを組立するときは必ずスイッチを切り、差込みプラグを電源から抜いて組立をしてください。不意の起動により、思わぬ事故の原因になります。
- ディスクハンドに取付けできるディスクグラインダの取付部(ギヤケースとカーボンブラシケースの中間部)は、φ56～58です。合値しないサイズを無理に取付けて使用しないでください。思わぬ事故の原因になります。

●切断作業で使用時の組立方法

- ①ディスクハンドの固定ノブボルト(2ヶ)を外して全開にしてください。(図1参照)
- Ⓐ外した固定ノブボルト(2ヶ)は、組立で使いますので紛失しないようお願いします。
- ②本体(SDG-100G)の後部を少し持ち上げてディスクハンドのカバー①を下から差込み、ディスクハンドのカバー②部が本体の下にくるようにします。(図2参照)
- ③本体(SDG-100G)のディスクハンド取付け部がディスクハンドのカバー②側の固定ラバーの上に乗るように、差込んだディスクハンドを持ち上げてください。

(図2参照)

- Ⓐ本体(SDG-100G)のカーボンブラシケースとディスクハンドのカーボンブラシ収納部を合わせてください。

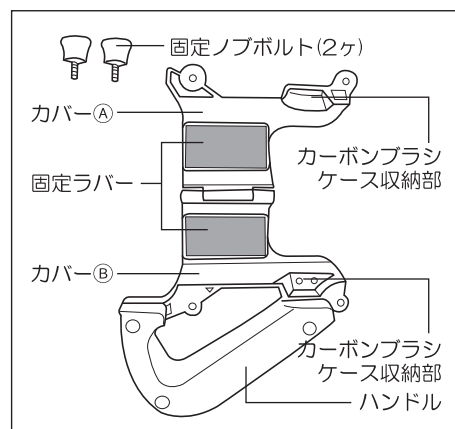


図1

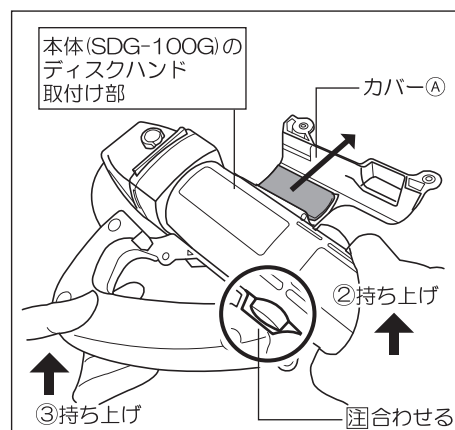


図2

- ④ディスクハンドのカバー①を本体にかぶせ、そのまま裏返しにしてください。

(図3・4参照)

- Ⓐ本体(SDG-100G)に組付けたディスクハンドの位置がずれないように注意して裏返してください。

- ⑤先に外した固定ノブボルト(2ヶ)を使用して、ディスクハンドを固定してください。(図4参照)

- Ⓐディスクハンドを本体に取付け、固定ノブボルトを締付けても本体とディスクハンドにゆるみがあるときは、補助固定ラバーを使用して調整してください。

- Ⓐ補助固定ラバーを使用しても本体とディスクハンドにゆるみがあるとき、又、ディスクハンドのカバー①と②の合わせ目に開きが大きい場合などは、ディスクハンドを使用することができません。

- Ⓐディスクハンドの固定ノブボルト(2ヶ)の締付けがゆるいと作業中に固定ノブボルトがゆるみ、思わぬ事故の原因になります。確実に固定ノブボルト(2ヶ)が締付けられていることを確認して使用してください。

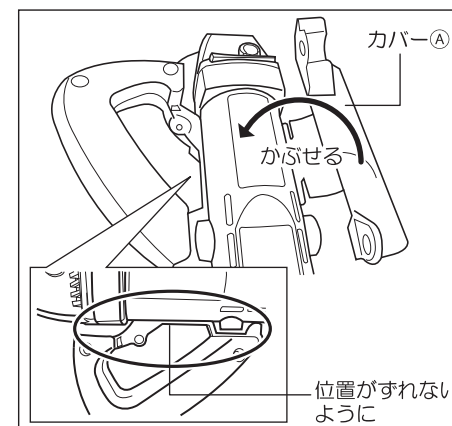


図3

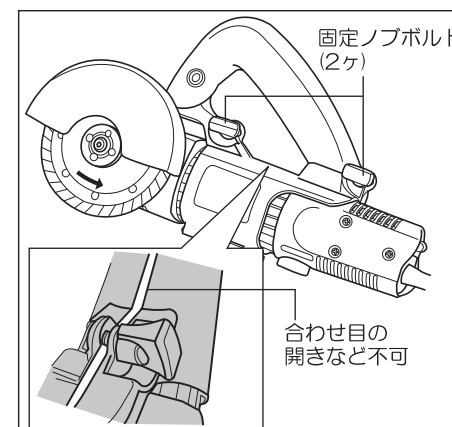


図4

●研削作業で使用時の組立方法

- ①ディスクハンドのハンドル部を本体(SDG-100G)の上面中央部になるように乗せ、カバー①を本体にかぶせて固定ノブボルト(2ヶ)で締め付けてください。(図5参照)

⚠ 警告

- 研削作業で使用時の本体(SDG-100G)とディスクハンドの組立方法は、切断作業で使用時の組立方法のⒶの注意を参照して組立をしてください。不完全な組立では、思わぬ事故の原因になります。

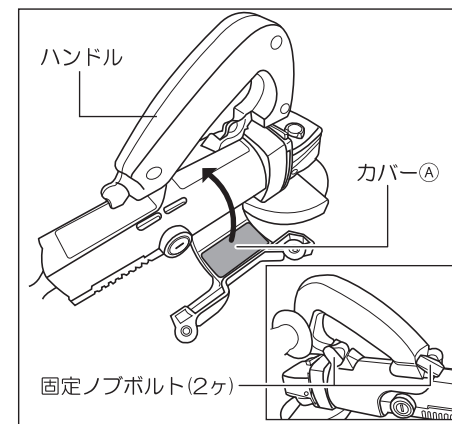


図5

■付属部品の取付け

⚠ 注意

- ご使用前に、取扱説明書に記載されている**付属部品に、損傷がないことを確認**してください。
- 付属部品の取付けは、取扱説明書に従い確実に取付けてください。**
- 付属部品の交換**をするときは必ずスイッチを切り、差込みプラグを電源から抜いて交換をしてください。不意の起動により、思わぬ事故の原因になります。
- トイシ類やダイヤモンドホイール及びトイシカバーのネジ止め固定、サイドハンドルの取付けは確実にしてください。**ネジ止めや取付けが不十分ですと使用中に、トイシやハンドル、トイシカバーが外れて思わぬ事故の原因になります。

■サイドハンドルの取付け方法

●切断作業で使用時の取付け方法

- ①ディスクハンドルのハンドル先端部にあるサイドハンドル取付けネジ穴に確実にねじ込んで締付けて下さい。(図6参照)
- ㊦サイドハンドルは、確実に締付けてください。締付けが不十分なときは作業中に締付けがゆるみ、思わぬ事故の原因になります。

●研削作業で使用時の取付け方法

- ①本体(SDG-100G)のギヤケース両側面にあるサイドハンドル取付けネジ穴いずれかに確実にねじ込んで締付けて下さい。(図7参照)
- ㊦サイドハンドルは、図6で示すディスクハンドに取り付けて使用することもできます。
- ㊦サイドハンドルは、確実に締付けてください。締付けが不十分なときは作業中に締付けがゆるみ、思わぬ事故の原因になります。

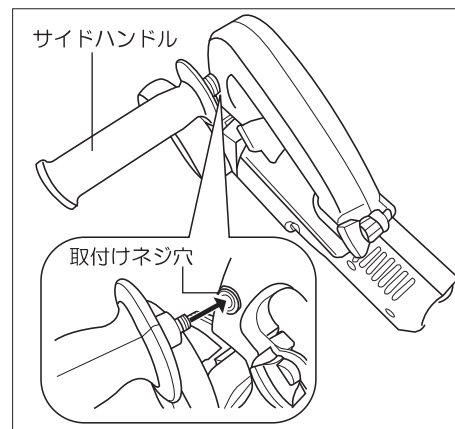


図6

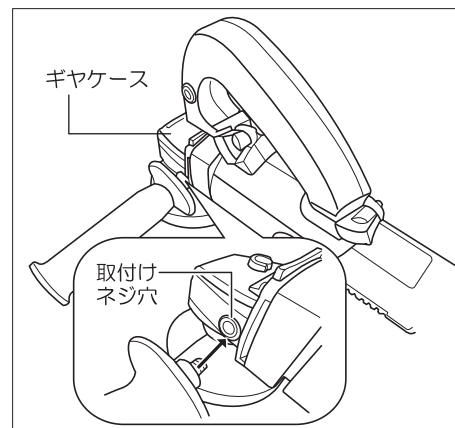


図7

●トイシカバーの交換方法(図8参照)

- ①本体(SDG-100G)には切断トイシカバーが取り付けられています。平面研削の作業時はオフセットトイシカバーに交換して下さい。
- ②ギヤケースに取付けられている切断トイシカバーの固定ネジを、⊕ドライバー(市販品)でゆるめて外してください。
- ③オフセットトイシカバーをギヤケースに差込み、オフセットトイシカバーの固定ネジを⊕ドライバー(市販品)で締付けてください。
- ㊦トイシカバー固定ネジは、確実に締付けてください。締込みが不十分なときは作業中に固定ネジがゆるみ、思わぬ事故の原因になります。

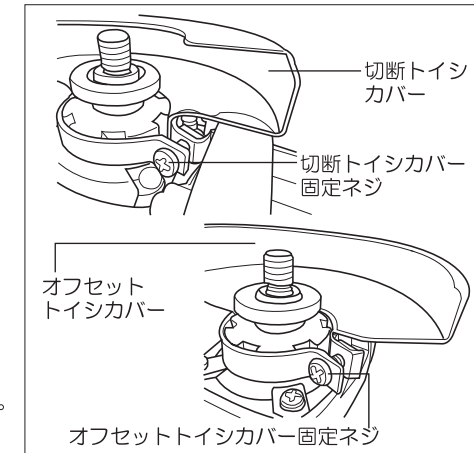


図8

●ダイヤモンドホイールの取付け(図9参照)

- ①スピンドルに締込まれているトイシ押さえナットを外してください。
- ②トイシ支えワッシャ凸(小)部に、付属のダイヤモンドホイール用プッシュの凸部を上にして入れます。
- ㊦スピンドル凸(切欠)部に、トイシ支えワッシャの凸(切欠)部が噛合っていることを確認してください。
- ③ダイヤモンドホイールを、本体(SDG-100G)の回転方向と合わせてダイヤモンドホイール用プッシュ凸部の外周に合わせて入れてください。
- ㊦ダイヤモンドホイールの矢印の印刷面を上(トイシ押さえナット側)にして入れてください。
- ④切断用ワッシャを、凹面を下にしてスピンドル入れてください。
- ⑤先に取外したトイシ押さえナットを、凹面を下(ダイヤモンドホイール側)にしてスピンドルに軽く締めてください。
- ⑥ロックピンを指で押してスピンドル軸を固定し、付属のスパナでトイシ押さえナットを締付けてください。
- ㊦取外しは取付けの逆の手順で行ってください。

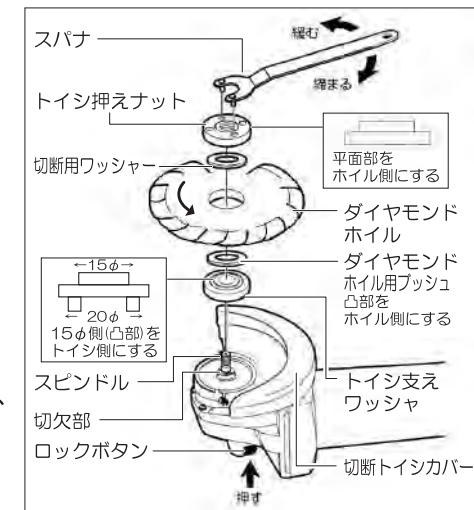


図9

●切断トイシの取付け(図10参照)

- ①スピンドルに締込まれているトイシ押さえナットを外してください。
- ②切断トイシを、トイシ支えワッシャ凸(小)部の外周に合わせて入れてください。
- ㊦スピンドル凸(切欠)部に、トイシ支えワッシャの凸(切欠)部が噛合っていることを、確認してください。
- ③切断用ワッシャを、凹面を下にしてスピンドルに入れてください。
- ④先に取外したトイシ押さえナットを、凹面を下にしてスピンドルに軽く締めてください。
- ⑤ロックピンを指で押して、スピンドル軸を固定し、付属のスパナでトイシ押さえナットを締付けてください。

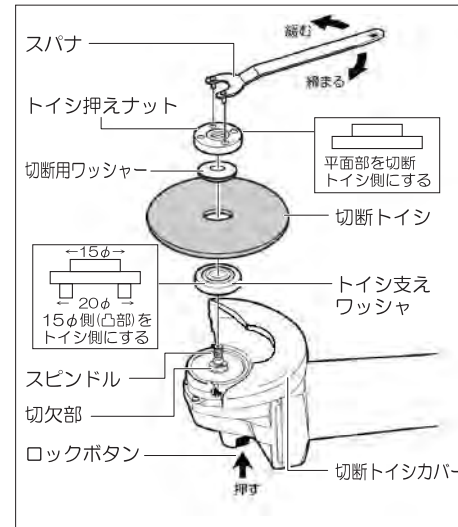


図10

●オフセットトイシの取付け(図11参照)

- ①オフセットトイシカバーに交換してください。(取扱説明書P. 12トイシカバーの交換方を参照してください。)
- ②スピンドルに締込まれているトイシ押さえナットを外してください。
- ③オフセットトイシの凹面が見えるようにして、トイシ支えワッシャの凸(小)部の外周に合わせて入れてください。
- ㊦スピンドル凸(切欠)部に、トイシ支えワッシャの凸(切欠)部が噛合っていることを、確認してください。
- ④先に取外したトイシ押さえナットを、凸面を下にしてスピンドルに軽く締めてください。
- ⑤ロックピンを指で押して、スピンドル軸を固定し、付属のスパナでトイシ押さえナットを締付けてください。

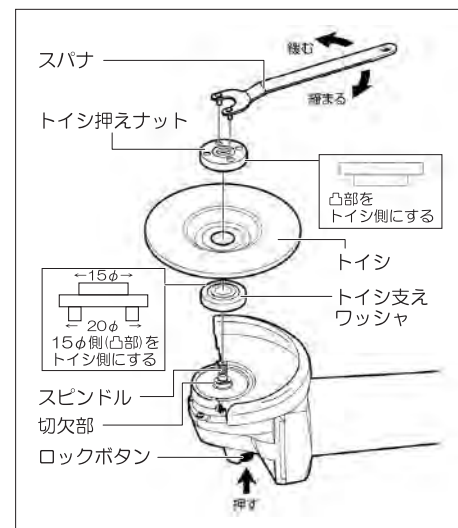


図11

●サンディングデスクの取付け(図12参照)

- ①スピンドルに締込まれているトイシ押さえナットを外してください。
- ㊦スピンドル凸(切欠)部に、トイシ支えワッシャの凸(切欠)部を噛合わせてください。
- ②トイシ支えワッシャに、ラバーパット(市販品)を差込んでください。
- ③サンディングデスクをラバーパットに乗せて、専用押さえナットを締めてください。
- ㊦ラバーパット(市販品)に、専用押さえナットが付属しているときは、ネジ山が一致している事を確認してご使用ください。
- ㊦ラバーパットに専用の押さえナットがついていないときは、付属の押さえナット(凸面)を下にしてスピンドルに締めてください。

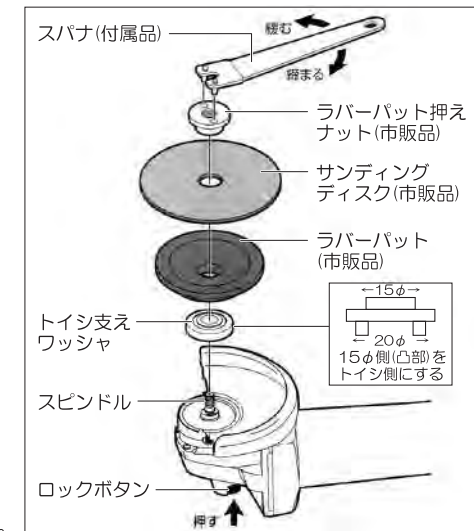


図12

●カップワイヤブラシの取付け

- カップワイヤブラシは、トイシ支えワッシャ凸(小)部に直接取付けてご使用ください。
- ロックピンを指で押してスピンドル軸を固定し、市販のスパナでカップワイヤブラシの六角ネジを確実に締付けてください。

ご使用方法

■スイッチの操作

⚠ 注意

- 使用電源は、銘板に表示してあるAC-100Vの電圧でご使用下さい。100Vのものを間違えて200Vの電源に接続しますと、モーターの回転が異常に早くなり、本機が破損する恐れがあり危険です。
- 差し込みプラグを電源に差しこむ前に、スイッチが切れていることを確認してください。また、使用後はスイッチが切れていることを確認し、プラグを電源から抜いてください。

- 本機後部にある、ON・OFF切り替えスイッチをON側に倒すとスイッチが入り、OFF側に倒すとスイッチが切れます。(図13参照)

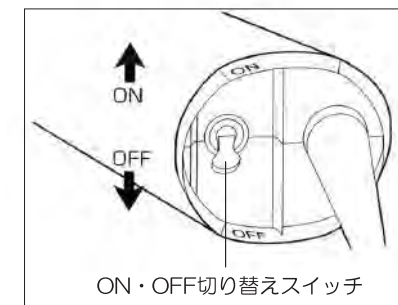


図13

■操作方法

⚠ 警告 ●作業に合ったトイシカバーを必ず取付けてご使用ください。カバーを外してご使用になりますと、思わぬ事故の原因になります。 ●使用前に各種トイシやダイヤモンドホイルなどに亀裂、割れがないことを確認してください。亀裂、割れのままご使用になりますと破損などで、思わぬ事故の原因になります。 ●切断する材料や研削する材料は、確実に固定してください。不安定な置き方で作業をしますと、材料が飛ばされて思わぬ事故の原因になります。 ●ダイヤモンドホイル、切断トイシでの曲線切り、斜め切り、ジグザグ切断、コジリ、側面使用などは絶対にしないでください。破損などで、思わぬ事故の原因になります。 ●作業者は、長袖、長ズボン、保護メガネ、防じんマスク等を必ず身につけてください。研削粉や火花が飛び散り、火傷や目、口に研削粉が入る事があり危険です。 ●可燃性の液体やガスのある所では絶対に使用しないでください。可燃物の近くで使用しますと、引火、爆発の危険があります。
⚠ 注意 ●無理に押し付けて、回転数が大幅に低下するような負荷をかけないでください。作業能率が低下するだけでなく、本機の寿命が短くなります。 ●本機は、スイッチを切ってもモーターの回転はすぐに止まりません。作業が終わっても地面や床にはすぐ置かず、回転の停止を確認してください。 ●切断直後、切削直後の材料は熱くなっています。火傷の恐れがありますので、直ぐには触らないでください ●作業前に人のいない方向に本機を向けて試運転をし、本機や取付け部品に異常のないことを確認してください。

●切断(図14参照)

- モーターの回転を十分上げてから、切断材料に静かにあててください。
- モーターの回転が落ちないように、ゆっくり前方に進めて切断してください。

☑1回の切込み深さを浅くし、モーターの回転が落ちないように注意して押し進めてください。

☑ダイヤモンドホイルの外径は105mmです。切れ味が落ちたと感じたときはダイヤモンドホイルの寿命です。新品(市販品)と交換してください。

☑切断トイシの外径は100mmです。外径が70mm位まで摩耗したら、新品(市販品)と交換してください。

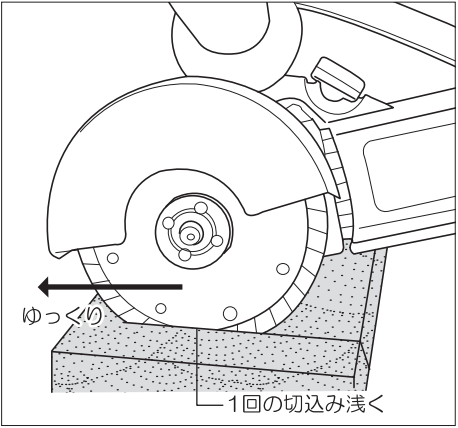


図14

●研削(図15参照)

- モーターの回転を十分上げてから、研削する材料にトイシを軽くあててください。
- モーターの回転が落ちないように、ゆっくりと押しあてて研削してください。
- 材料の加工する面に対し、トイシの面が20°～30°位の角度であたるようにしてください。(図15参照)
- トイシが新しい時は、後へ引くようにして使用してください。
- トイシの周囲の角が摩耗してから、前後や円を描くようにして使用してください。

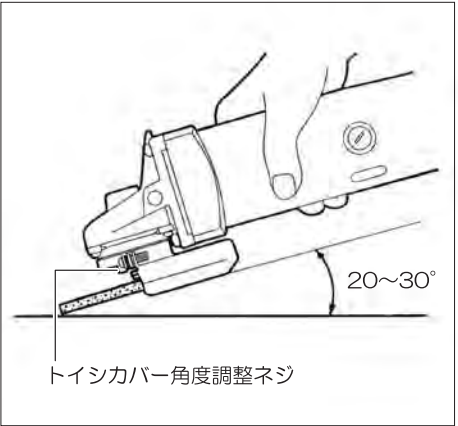


図15

☑トイシの全面を材料にあてないでください。

☑トイシの外径は100mmです。外径が70mm位まで摩耗したら、新品(市販品)と交換してください。

■トイシカバーの角度調整方法

- トイシカバーの本体差込口に固定ネジがついています。角度を調整するときは、固定ネジを⊕ドライバー(市販品)でゆるめて調整してください。(図15参照)

☑トイシカバーは安全のため、必ず取りつけてご使用ください。

☑角度調整後は、トイシカバー固定ネジを確実に締め付けてください。

保守、点検について

⚠ 注意 ●保守、点検をするときは必ずスイッチを切り、差込みプラグを電源から抜いてください。不意の起動により、思わぬ事故の原因になります。

- 各部を点検してネジのゆるみがないか確認してください。万一、ゆるんでいるときは締めなおしてください。そのまま使用しますと大変危険です。
- 作業が終わりましたらゴミを取り除き乾いた布か石けん水をつけた布をよくしぼって拭いてください。

☑ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、水洗いは絶対にしないでください。

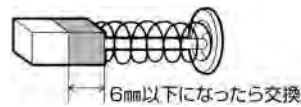
- 高温にならない乾燥した場所に保管してください。
- お子様の手のとどかない、落下の恐れのない安全な場所に保管してください。

■カーボンブラシの交換(図16参照)

⚠ 注 意

- カーボンブラシを交換するときは、必ずスイッチを切り、差込みプラグを電源から抜いてください。不意の起動により、思わぬ事故の原因になります。

- カーボンブラシは、時々取り外して点検してください。
- カーボンブラシは消耗品です。残りが約6mm位になりましたら交換してください。摩耗が大きいままご使用になりますと、モーター故障の原因になります。



- ①カーボンブラシケースのブラシキャップを
⊖ドライバー(市販品)などでゆるめて外してください。
- ②摩耗したカーボンブラシを抜き取り交換してください。
- ③取付けは、取外しの逆の要領で行ってください。

Ⓖカーボンブラシは2個で一組になっています。交換の時は、必ず2個同時に行ってください。

- カーボンブラシの寸法 9×6×11mm(長さ)

- 本機についてのお問い合わせ、修理等は、お買い上げの販売店、又は、当社までご連絡ください。

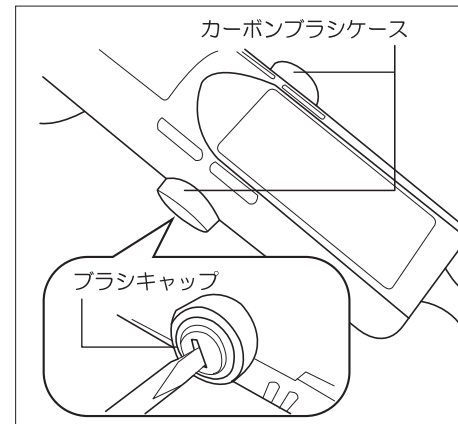


図16